

全員協議会 会議録（要点筆記）

午前 9時34分 開会

午前 9時44分 閉会

場所 : 全員協議会室

[上程議案の補足説明]

1 高齢者への季節性インフルエンザ定期予防接種開始時期の前倒し及び接種費用の全額助成について

竹部益世健康子ども部長：資料に基づき説明

鈴木健一議員：何点かお聞きします。まず、接種率を54%から75%まで上げるということですが、今までと同じ周知方法では目標値まで上げることは困難だと思いますが、どのような対策を考えていますか。

竹部益世健康子ども部長：現在はメディアでも（インフルエンザワクチンの）接種の必要性について報道されており機運が高まっていますので、今の状況でも接種率は上がると考えています。加えて、高齢者が通う施設や目にする場所に掲示を行い積極的に啓発していきます。

鈴木健一議員：予防接種を受けるために医療機関に出かけられない方のための支援は何か考えていますか。

竹部益世健康子ども部長：医師による往診や施設入所の場合は施設に担当医がいますので、医師が出向いて接種することを考えています。

鈴木健一議員：75%は目標だと思うが超えた場合はどうなるのか。

竹部益世健康子ども部長：超過分も助成します。

中川健一議員：インフルエンザワクチンの予防効果についてお尋ねします。薬害と言われるものもあり、私自身は勉強する中で「薬は毒だ」という考えも持っています。ワクチンを接種することで、インフルエンザの発症がどの程度抑制できるのかを教えてください。

竹部益世健康子ども部長：インフルエンザワクチンは発病を抑える効果が一定程度認められます。国の研究機関によりますと、高齢者施設に入所している65歳以上の高齢者については34から55%の発病を阻止し、82%の死亡を抑制する効果があったとの報告もされていますが、一般的には60%程度の発症を抑えられるとの報告が出されています。

坂井美穂議員：最近のテレビ報道でこの時期の沖縄の罹患率が10分の1に抑えられており、その理由としては、コロナウイルスへの対策として手洗いや消毒などをしっかりとされているためとのことでした。そのような状況下で今まで通りの接種率が確保できるのか、現在の環境変化の中で75%の接種が見込めるのか、見解をお聞かせください。

竹部益世健康子ども部長：当初予算では54%を見込んでいました。今回のこの75%という値は、愛知県がこの助成の予算確保の際に接種率を75%で見込んでおり、半田市も同じ率を使用したものです。今回の（接種費用助成）目的は（罹患した際に）重症化しやすい高齢者にできるだけ接種いただき、医療機関の混乱

を防ぐことですので、（高い接種率となるよう）しっかりとPRしていきます。

[その他（報告）]

1 半田病院職員の新型コロナウイルス感染について

竹内甲司田病院事務局長：昨日議長に報告しました、病院職員の新型コロナウイルス感染について、資料はまだありませんが、まずは、口頭で報告をさせていただきます。昨日の職員の陽性の連絡を受け、患者さん48名、職員58名、計106名の接触者に対してPCR検査を実施しました。うち、既に退院となった方が8名いらっしゃいますので、うち、98名の検査結果が昨日出まして、残念ながら、職員1名に陽性反応が出ました。この職員について、保健所の調査は未了の段階ですが、9月13日に1例目となった職員と準夜勤務に従事し、休憩時間帯にマスクをしない状態で15分以上の接触があったとの報告を受けております。

今後の対策につきましては、今、病院の感染対策委員会でとりまとめていますので、まとめ次第改めて報告させていただきます。

午前 9時44分 閉会